

医政安発 1227 第 2 号
薬生安発 1227 第 2 号
平成 30 年 12 月 27 日

公益社団法人日本臨床工学技士会会長 殿

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長
(公 印 省 略)

医療事故情報収集等事業第 55 回報告書の公表について

医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

医療事故情報収集等事業につきましては、平成 16 年 10 月から、医療機関から報告された医療事故情報等を収集、分析し提供することにより、広く医療機関が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することを通じて、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施しているところです。今般、公益財団法人日本医療機能評価機構より、第 55 回報告書が公表されましたのでお知らせします。

本報告書における報告の現況等は、別添 1 のとおりです。また、別添 2 のとおり、再発・類似事例の発生状況等が報告されています。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のため、本報告書の内容を御確認の上、別添の内容について留意されますとともに、貴会会員に対する周知をお願いいたします。

なお、本報告書につきましては、別途公益財団法人日本医療機能評価機構から各都道府県知事、各保健所設置市長及び各特別区長宛に送付されており、同機構のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) にも掲載されていますことを申し添えます。

医療事故情報収集等事業 第55回報告書のご案内

1. 集計報告

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：2018年7月～9月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2018年			合計
	7月	8月	9月	
報告義務対象医療機関による報告件数	371	386	336	1,093
参加登録申請医療機関による報告件数	81	32	37	150
報告義務対象医療機関数	274	274	274	—
参加登録申請医療機関数	784	787	788	—

(第55回報告書 14頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2018年7月～9月	
	件数	%
薬剤	90	8.2
輸血	3	0.3
治療・処置	317	29.0
医療機器等	25	2.3
ドレーン・チューブ	86	7.9
検査	76	7.0
療養上の世話	352	32.2
その他	144	13.2
合計	1,093	100.0

(第55回報告書 15頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：2018年7月～9月に報告された事例)

- 1) 参加医療機関数 1,225 (事例情報報告参加医療機関数 652施設を含む)
- 2) 報告件数 (第55回報告書 18頁参照)
 - ①発生件数情報報告件数：241,443件
 - ②事例情報報告件数：7,654件

2. 事例の分析 (第55回報告書 21～60頁参照)

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| (1) 小児へ投与する薬剤に関連した事例 | 【第55回報告書 22～42頁参照】 |
| (2) 院内で調製している薬品の管理に関連した事例 | 【第55回報告書 43～50頁参照】 |
| (3) 検査や治療・処置時の左右の取り違えに関連した事例 | 【第55回報告書 51～60頁参照】 |

3. 再発・類似事例の分析 (第55回報告書 61～81頁参照)

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例のテーマは下記の通りです。

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| (1) 「病理診断報告書の確認忘れ」
(医療安全情報No. 71) | 【第55回報告書 63～74頁参照】 |
| (2) 「口頭指示の解釈間違い」
(医療安全情報No. 102) | 【第55回報告書 75～81頁参照】 |

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。

